

標 題 : Minor polar compounds extra-virgin olive extract (MPC-OOE)
inhibits NF- κ B translocation in human monocyte/macrophages
微量極性化合物-エクストラバージンオリーブ油抽出物(MPC-OOE)は
ヒトの単球/マクロファージでNF- κ B転座を阻害する

著 者 : S. Brunelleschi, et al. (イタリア ピエモンテ オリエンタル大学 医学部)

掲 載 誌 : Pharmacol. Res. 56: 542-549 (2007)

要 旨 :

オリーブ油が主な油脂源である地中海食事は、冠状動脈性心疾患および癌のリスクを低下させると、疫学研究が実証している。

オリーブ油の有益な作用はオレイン酸だけに依存するのではなく、微量極性物質(MPC)とも関連すると、提案されてきた。

炎症と心臓血管系疾患との間の正相関が長い間説明されており、単球/マクロファージおよびNF- κ Bが極めて重要な役割を演じる。

本研究の目的は、健康なボランティアから分離した単球および単球由来マクロファージ(MDM)でのNF- κ B転座に対する、特に我々が調製したMPCが豊富なエクストラバージンオリーブ油の抽出物(MPC-OOE)の影響を調べることであった。

濃度依存的にMPC-OOEは、非刺激およびホルボールミスチン酸アセテート(PMA)チャレンジ細胞の両方でp50およびp65 NF- κ B転座を阻害し、特にp50サブユニットに効果的であった。

興味深いことにこの作用は、バージンオリーブ油の栄養摂取後のヒト血漿中で認められる濃度で起こり、PPAR- γ リガンドのシグリタゾンによって発揮される作用と量的に類似した。

しかしMPC-OOEは、単球およびMDMでPPAR- γ の発現に影響しなかった。

これらのデータは、ヒトの単球/マクロファージでNF- κ B活性化を阻害する能力を示すことによって、エクストラバージンオリーブ油の有益な作用の証拠をさらに提示する。

キーワード : オリーブ油、微量極性化合物、NF- κ B、p50サブユニット、p65サブユニット、PPAR- γ 、ヒトの単球/マクロファージ
